

闘虎

No. 7
Wrestling
群馬県レスリング協会広報紙
平成18年 夏季号



柳谷参助、気迫の王座返り咲き！

全国少年少女レスリング選手権大会

7月21～23日、東京・駒沢公園体育館において「第23回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。柳谷参助（太田倶楽部）が2003年の優勝以来、2年連続決勝まで進みながらV逸した悔しさを晴らし、3年ぶり王座に返り咲いた。また、木村安里（千代田ジュニア）は4年連続優勝という圧倒的強さを見せつけた。本県選手で入賞した選手は次のとおり（種目・階級は省略）。

- 【第1位】木村安里（千代田） 柳谷参助（太田） 佐々木颯斗（同）
 【第2位】鈴木紅夏（太田） 石岩寛鷹（邑楽） 大出若奈（千代田）
 田部井祐太（邑楽） 小田梨英留（同）
 【第3位】根岸卓也（千代田） 増山郁人（同） 八山裕紀（同）
 坂本美奈実（大間々） 今村南穂（太田） 鈴木芽衣（同） 小林舞衣（同）



クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第7回

千代田 Jr レスリングクラブ

体力向上と礼儀を重視！
一人でも多く全国王者に

かつての日本大の道場は、天井も低く狭小な道場でしたが、そのときの監督の言葉が印象的でした。「道場は狭い方が強くなるんだよ」。千代田ジュニアの道場を初めて訪れたとき、そのことを思い出しました。

千代田ジュニアの誕生は今から16年前。現協会会長の内田薫さんと現クラブ代表者の岡田幸雄さんが、普及のためにレスリング教室を開講。その後協会発足と同時にクラブがスタート。当初は温水プールの2階にマットを敷いたりかたづけたりの3年間。その苦労を経て、千代田中卓球部の廃部を機に卓球場を利用、現在の道場に至っています。

それから順調に強いレスラーが育つていき、OBではインカレ王者の松本隆太郎（日体大3年）や弟の篤史（同大1年）、現団員では全中王者や全少4連覇中の選手ら次々と王者が誕生しています。スタッフは岡田代表に加え、船越利行監督、増山浩永ヘッドコーチ、黒沢宏明、小林敦、松山勇太各コーチと手厚い布陣。礼儀と体力向上を重んじ、一人でも多くの全国王者を、将来はオリンピック選手を、という夢に向かい、今日も密度の濃い練習に励んでいます。

■練習日時 毎週火・金・土曜日、午後6時～7時30分・千代田中学校

SCHEDULE

■国民体育大会
10月1日（日）～4日（水）
兵庫県猪名川町文化体育館

■県民総体・県高校新人戦・
県小学生総体
11月5日（日）
館林市城沼総合体育館

■上武洋次郎杯邑楽町
少年レスリング大会
11月19日（日）
邑楽町民体育館

■千代田近接少年
レスリング大会
12月2日（土）
千代田町総合体育館

■近県都市交流大会
12月17日（日）
館林市城沼総合体育館



レスラーファクトリー
（思い出の一夜）

田部井健二さん（邑楽町・54歳）

□この写真は昭和44年、私が館林高校3年のインターハイでの1枚で、団体戦のレギュラー7人衆です（後方左から飯塚・田部井・天谷・内田、前列左から浜島・中村・谷津）。開催地は地元・館林市。そのため、レスリングは「最強化重点種目」に指定され、優勝が義務付けられました。私が高1の夏に完成した合宿所に、そのまま高3の夏までいました。その間、家に帰った記憶がありません。それほど徹底的に強化しました。森田武雄先生も若く、燃えていました。開会式で私は旗手も務め、団体戦では念願の優勝を果たしました。個人戦では、私と谷津が準優勝。その谷津と今では邑楽ジュニアの指導をしているのだから、不思議なものです。この優勝以来、館林高校の優勝はありません。今年33年ぶりに優勝した秋田商のように、わが館高の優勝をOBとして見てみたいものです。

GOOD ぐんまの 新鮮レスラー!



清水 友貴選手 (前橋西高校3年)

中学時代の柔道の先生が、小林先生と知り合いで前西高レスリング部を勧めてくれました。それまでレスリングは予備知識ゼロでしたが、やってみて自分的には「苦しい」とか「きつい」より「楽しい」という方が先です。インターハイでは鹿島実業の内村選手に負けましたが、優勝した選手からポイントを取ったので、自信につながりました。大学でもレスリングを続けます!

6月4日(日)、茨城県スポーツセンターにおいて「第52回関東高校レスリング大会」が行われた。今大会は、昨年行われたオリンピック選手・笹本睦選手の技術講習会の成果が、グレコローマンで3階級を獲るといふ活躍を見せた。50キロで優勝した八代尚也(富実高3年)は、昨年ケガにより1年近く練習ができないう状態だったが、3年で復活し見事優勝。JOCで優勝した60キロの富

大型新人阿部が優勝! 八代尚也は復活のV 関東高校レスリング大会

年の尾崎秀典が一人気を吐き、第3位に入賞する活躍を見せた。

塚拓也はもはや関東で敵なしの貫禄V。アジアカデットに向けて好調ぶりをアピールした。さらに、阿部雅幸(館商工高1年)は、柔道からレスリングに転向してわずか3ヶ月で関東制覇。大器振りを見せつけた。その3人以外にも入賞者が次のとおり出たが、フリースタイルではメダル獲得はなかった(数字は順位)。

【グレコローマンスタイル】◆50Kg ①八代尚也(富実高3年) ◆55Kg ②高橋遼(西邑楽高3年) ◆60Kg ①富塚拓也(関学大附属高2年) ◆74Kg ②増田啓佑(同3年) ◆84Kg ③福田翼(富実高3年) ◆96Kg ③中里一也(館林高2年) ◆120Kg ①阿部雅幸(館商工高1年)

江田健二郎が初優勝! 邑楽Jrは5階級獲る! 館林市民秋季レスリング大会

9月2日(土)、城沼総合体育館において「平成18年度館林市民秋季レスリング大会」が行われた。館林ジュニアの江田健二郎の健闘が光り、初優勝を飾った。おたスポーツ学校・横井雅輝も初優勝を飾り、最少人数クラブの意地を見せた。

【中学生】◆42Kg 金子佐(千代田) ◆47Kg 池田圭介(館林) ◆53Kg 菊井悠介(伊勢崎) ◆59Kg 橋口光太郎(館林) ◆66Kg 根岸亨宗(伊勢崎) ◆73Kg 木村政貴(千代田) ◆73Kg 武藤駿(同)

【小学5、6年生】◆30Kg 増山郁人(同) ◆34Kg 木村安里(同) ◆39Kg 横井雅輝(おた) ◆45Kg



闘志が素晴らしい江田健二郎

毎年恒例日米親善レスリング。今年は次のメンバーで構成され各地区を回り、すべての試合で勝ち越した。

◆団長 岡田幸雄 ◆選手 金子佐 亀山晃寛 木村政貴 武藤駿 金子 和(以上千代田) 池田圭介 橋口光太郎(以上館林) 青山満也(明和) 大柿允(大間々) 菊井悠介 田中慧 根岸亨宗(以上伊勢崎) 津久井光司(太田) 岡本幸恵(藤岡北高)

◆結果 コロンバスイースト(8勝7敗・9勝6敗) テルシテイ(8勝6敗・13勝4敗) フランクリン(16勝4敗) ※ポーランドとも対戦。

インディアナ州遠征で 群馬チーム大活躍!

9 柴崎仁沙(館林) ◆+51Kg 藪塚明登(大間々)

【小学3、4年生】◆24Kg 八山裕紀(千代田) ◆28Kg 関野魁童(同) ◆33Kg 田口拓海(明和) ◆39Kg 木村優太(千代田) ◆42Kg 井上真央(明和)

◆42Kg 石岩寛鷹(邑楽)

【小学1、2年生】◆20Kg 江田健二郎(館林) ◆24Kg 武藤零(千代田) ◆28Kg 石岩三奈(邑楽) ◆+28Kg 田部井祐太(同)

【幼年】◆17Kg 藤生乙葉(大間々) ◆21Kg 清野大輝(邑楽) ◆+21Kg 石川弘人(同)

木村と武藤が盤石の強さで全国制覇!

全国中学生レスリング選手権

6月10、11日、茨城県スポーツセンターにおいて「沼尻直杯第32回全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。今大会で優勝候補に目されていた県内選手は、千代田ジュニアの木村政貴(千代田中2年)と武藤駿(同)。2人は昨年、揃って3位決定戦で敗れたため、「今年こそ優勝する」と誓い合い、1年間猛練習に明け暮れた。大会では、その練習の成果を十二分に発揮し、圧倒的強さで決勝まで進出。まず66キロの木村の試合が先に行われ、僅差だが



来年は2連覇だ! 木村政貴(左)と武藤駿(右)

西脇健紘と増谷一樹が 第3位に食い込む!

全国高校グレコローマン選手権

8月17、19日、東京都駒沢公園体育館において、「第21回全国高校グレコローマン選手権大会」が行われた。県予選を勝ち抜いた精鋭選手が多数出場したが、全国の厚い壁に次々とね返されていく中、66キロの西脇健紘(前西高3年)と60キロ増谷一樹(館林高3年)の両雄が意地を見せ、3位決定戦まで勝ち進み、銅メダルを獲得した。この前橋と館林の両主将は、大学でもレスリング続行を宣言。素質、気力とも申し分ないだけに、今後一層期待できる選手である。

太田倶楽部が2連覇! 小・中両部門を制す!

群馬県スポーツ少年団大会

8月6日(日)、城沼総合体育館において「第42回群馬県スポーツ少年団大会レスリング競技会」が行われた。この大会は、県内のクラブによって争われる団体リーグ戦。小、中学生の2部門に分けて行われるが、昨年小学生の部で優勝した太田倶楽部が2連覇を達成、中学生の部でも優勝し、団結力と「太田倶楽部魂」をアピールした。

なお、両部門の順位は次のとおり。

【小学生の部】①太田倶楽部 ②大間々クラブ ③千代田ジュニア

【中学生の部】①太田倶楽部 ②邑楽ジュニア ③大間々クラブ

尾崎秀典健闘第3位! 松本(隆)2連覇逃す! 全日本学生レスリング選手権

8月24、27日、大阪府金岡公園体育館において、「第62回全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年初優勝を果たし、2連覇がかかっていたグレコ60キロ松本隆太郎(千代田Jr・館高1・日体大3年)は決勝戦で同門の北岡秀王に不覚。ほかの本県出身レスラーが埋没していく中、大激戦区フリー74キロで群馬大学2

なでしこGUNMAの

レスクイーン



館林ジュニアレスリングクラブ
横山莉加さん(中2)

レスリングは兄の影響で、幼稚園年中から始めました。なかなか勝てなくて何度もやめたいと思いましたが、強くなりたいう一心で続けています。ライバルは千代田ジュニアの金子和ちゃん。勝ったことはないですけど(笑)。全国大会とか大きい大会に出るのが楽しみです。柏クラブの矢後ゆかちゃんとか仲良しになった子がたくさんいます。目標らしい目標はありませんが、とにかく1勝でも多く勝つこと。高校でも続けたい気持ちがあります。私はレスリングでたくさんのおもしろいことを学びました。私が幼稚園のときから指導してくれた先生方にありがとうございます。